

英語の Team-teaching

日本の公立学校で英語を母国語とする教師(NETs; Native English-speaking Teachers)は、日本の生徒に海外へ目を向けさせ、英語を話す国々の多様な民族、文化を理解させるという教育目的のもとで、各校に配属されています。しかし、日本のような均一な国家ではそのような目的を達成すること可能でしょうか？なぜなら、効果的なTeam-teachingプログラムを日本の英語教育に持ち込むことは、混乱を招く可能性があるチャレンジングなことだからです。しかしながら、私たちは積極的な態度に気持ちを切り替え、目的のために革新的なステップを踏みながら、成功を達成できると信じています。まずは、お互いに協力し、信頼・信用することから始まります。協力や信頼・信用があれば、スムーズに事が運び、効果的なTeam-teachingプログラムのビジョンが学校やコミュニティの中で確立しやすいでしょう

後に私がNETになる何年も前の1990年代半ばに、私は高校生で、二人の日本語教師に教わるという貴重な機会を持ちました。いずれも日本からきた教師で、一人は指導教員、もう一人は補助教員でした。毎回、教室では、私は週に5回彼らに会い、ほぼ日本語を使用して彼らから日本語を学びました。また、私は日本の文化や習慣についても学びました。また、クラスの課題として、年に一度開催される日本語スピーチあるいは日本語の寸劇のコンテストに参加する機会もありました。私の学校には、日本に関連した課外活動を行う日本クラブもありました。さらに、最終学年の時には、日本から私の学校にやって来た日本人生徒と会う機会もありました。その際には、お互いに自分たちの文化をグループで発表しあい、互い貴重な文化に触れる経験をしました。これらの経験の全部が、公立高校でできたのです！その日本語教育の補助教員は、別の教員と交代させられることは1年の半ばでなく、彼らは少なくとも1年以上は年間をとおして同じ学校に配属されていました。さらに、彼らは、私が通う高校の教育に貢献し、指導教員と良好な関係を築きつつ、日本語の教師の団体のメンバーにもなっていました。

日本における英語教育カリキュラムでは、学校でTeam-teachingをどう組み込むかについて、アメリカと違って非常に複雑です。日本人の英語教師(JTEs; Japanese teachers of English)は、クラス担任として、各科の教師同じように多くの責任を負わなければなりません。それらは、学期やレポート、行事、会議、部活動などにも参加し携わらなければなりません。さらに各クラスでの指導や英語関連の責任を考えた場合、公式の英語教科書が最重要となり、多くの生徒が実際に入試に合格することに主眼を置いていることに影響されてきます。そこで、いかにJTEsとNETsが協力してTeam-teachingを行うかによって、生徒が得る機会は大きく左右されることとなります。どうしたら、英語のクラスで、Team-teachingの機会を増やすことができるでしょう？

まず、NETsによる授業を追加のTeam-teachingクラスとするのではなく、JTEsが行う通常どおりの英語授業に統合して組み込んでしまうのが良いスタートでしょう。なぜなら、JTEsにとって、文化的な授業を組み込んでより良い授業に発展させるために、NETsを十分に活用できるからです。もし可能ならば、日常からそれを試すかそれに近い形を試してみて、NETsが受け持つ複数の学校のJTEと一緒に授業を教育のアウトリーチと位置づけてスケジュールを組んでみましょう。何とか機能するように方法を見つけましょう！JTEsとNETは職員室で近くに座っているのですから、互いにレッスンのプランを話し合わなければならないことは必須です。これらのNETsは、単なる熱心な短期の補助教員ではなく、長期の経験豊富なNETsも含まれます。学校教育に貢献することを真に願い、日本人の教師たちと信頼関係を築きたいと願うユニークで独立して多様な教育スキルを持った本物のNETsはいるのです。彼らは、JTEsとの仕事にベストを尽くし、英語関連の放課後のプログラムも大いにサポートしています。それは、他のすべての教師たちにとって、彼らのNETsを知ってもらい、彼らが学校の有効な教育メンバーの一員と認める良い機会にもなります。例えば、中学校のNETsは他の教師が行う仕事に参加することができます。彼らは、教室の掃除をする生徒のグループの指導教師にもなれますし、運動会の色分けされたチーム責任をもつ担当教師などにもなれるでしょう。

資料については、それぞれの日本の学校の英語科の中で国内や国際的な教育資料を学校の権利で購入し、全てのNETに仕用のラップトップを提供することは、質の高い教育を提供するために必要な投資でしょう。そのための財源は存在し可能はずです！例えば、日本の公立学校は、モデル校としてハイテク機材を教室に導入し、ICTのスペシャリストを学校教師の訓練のために一時的に依頼したりするという試みは、特別なモデル校を助成する財源を利用して行われています。さらに、そのようなモデル校は、効果的にその財源や資源を利用する権利があります。教師や教育者の賢い選択により、生徒の未来が変わり、モデルプログラムは他の学校にも広めることができます。これをTeam-teachingプログラムと一緒に進めましょう！効果的かつ効率的に進め、アメリカ合衆国におけるTeam-teachingプログラムの成功例に見られるような、“Goral and Outcome” <http://www.laurasian.org/jleap/index.html>と“Benefits” <http://www.larasian.org/jleap/benefits.html>を目指してください。さらに、それらを日本の公立学校が海外の公立学校

との相互の国際交流を確立する助けとなるように用いるだけでなく、日本での英語教育の質を高めるために利用されたと願います。

何年もかけて、私は教材用の資料を開発して私のウェブサイト [Eigo Ganbare](http://www.eigoganbare.com) に載せてきました。多くのJTEsにとって、彼らは限られた共用の教材にしかアクセスできず、厳格な公立学校の英語カリキュラムに沿わなければなりません。しかし、もし彼らがもう少しバランスのとれた仕事量と教え方の柔軟性を与えられ、Eigo Ganbareやその他のNET/JTEあるいは資格のある英語教師や教育者が開発した教材をスムーズに取り入れることができたなら、彼らはもっと自信を持って目的のある教育を楽しめるでしょうし、生徒のモチベーションを高めるために追加の教材を取り入れるように学校にはたらきかけるようにもなるでしょう。そして、外部サイトから作業やあらかじめ作られたレッスンをそのまま引用して使用していたようなNETsでさえ、彼ら自身であるいはJTEsと一緒に、より良いレッスンを創り出さなければならないと刺激を受けるかもしれません。

Eigo Ganbareは何でしょう？ 最初は私が生徒のワークシートに生徒へのメッセージとして彼らに希望を持ってもらいたいと願って書いていたものが始まりです。最善を尽くして、熱意を持って、という意味で。なぜならどんなに英語が難しくても、成し遂げられるからです！今では、JTEsには教えることを楽しむ精神を持ち、NETと互いに教え合うことに取り組み、効果的なJTEとNETによるTeam-teachingプログラムをやがて英語が必修となる小学校の教師に提供し、新しいチャレンジへの自信を築くこと、それぞれの上司が良い決断をするためのサポートにつながるように、同様のメッセージEigo Ganbareが多くの人に届くように願っています。全員参加で楽しくガンバロウ！！

このEigo Ganbareのウェブサイトの中には、どんなお宝が隠されているでしょう？

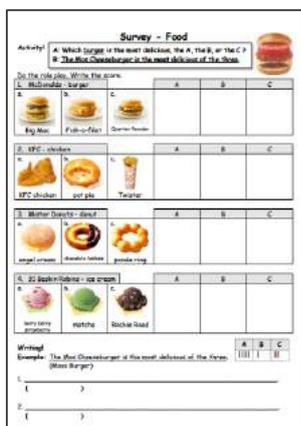
教育システムをより良くすることは可能です！

<http://www.eigoganbare.com>

(英語)

<http://jpn.eigoganbare.com>

(日本語)



Interviewing



Reflection



Social Media Education



School Blog



Augmented Reality Auras



Cultural Presentations

****When using these resources on Eigo Ganbare, please keep this in mind, “日本の公立学校のみ”に限定。他の利用は認めません。”**
And for parents, please support the local schools in your community.

What's your idea that you “CAN” add in class?

Read more articles, [The Pen Pal Project](#) and [JHS English Club: Success is Doing](#).

To learn about another team-teaching philosophy through the eyes of your fellow Japanese, teaching as an ALT in the U.S., please read their essay report at <http://www.jp.fg.jp/project/japanese/teach/dispatch/voice/f-leap/index.html>.



Teacher's ☆

REACH
for success!
Respect
Effort
Attitude
Cooperation
Honesty